第８５回　電気用品調査委員会
平成２４年１０月１７日
資料 №.７－４

平成 24 年 8 月 28 日
電気用品調査委員会
事故事例調査部会

事故事例に関連した情報提供のお願いについて

日頃より，事故事例の調査及び検討に関し多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて，事故事例調査部会では，毎年電気用品等に関わる事故事例を調査・検討し，必要に応じて省令第１項改正検討部会に技術基準の改正案作成を依頼することによって，省令や解釈の改正に結び付けていく作業を行っております。
このたび，平成２２年度の事故事例を基に検討を行った結果，以下の点について関係工業会にヒアリングを行うこととなりました。

つきましては，ご多忙の折誠に恐縮ではございますが，ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

－ 記 －

情報提供をお願いしたい事項について

１．液晶テレビ
電源部の安全品質を確保するための技術基準の改正等について

要旨：液晶テレビは，現在海外メーカ製のものが多く出回っていますが，海外メーカ製の製品が事故を起こし，当該メーカは倒産し，輸入業者や使用者自身が負担を強いられる等の事例も多く見受けられるようになってきています。
液晶テレビにおける事故原因としましては，電源部に起因するものが最も多く，今後，特に電源部の安全品質の確保が望まれます。
ただ，一方で事故原因を更に深く見ますと製造上の問題や部品の不具合に起因するものがかなりの割合を占めており，それらを見据えたトータルとしての安全品質の確保が必要になると考えられます。

つきましては，液晶テレビにおいて，電源部の安全品質の確保(向上)に向け，技術基準の改正等により対応できることはないか，関係工業会からの情報提供をお願いしたく，ご多忙の折誠に恐縮ではございますが，何卒よろしくお願い申し上げます。
尚，今回のお願いは液晶テレビにおける事故事例が多かったため，液晶テレビを中心としたものとなっておりますが，プラズマテレビや有機ＥＬを使用したテレビ等に対しても展開できるような内容のご提案があれば，それらを包含した形で担当部会及び電気用品調査委員会にて検討・審議させていただきたいと考えております。

２．電子レンジ

庫内に付着した食品カスに起因する事故の低減手段について

要旨：電子レンジにおける事故事例では，ドアの開閉を検知するスイッチの不具合により発生した事故と，庫内に付着した食品カスに電波が集中して発生した事故の２例が多く見られ，特に食品カスに起因した事故につきましては，以前より継続的に発生しております。
ドアの開閉を検知するスイッチについては，現在技術基準にて厳格に要件を謳っており，事故を起こした製品はこの要件を満足できていなかったものと考えられます。
一方の庫内の食品カスに起因する事故につきましては，取扱説明書における注意文はあるものの，事故が継続して発生する状況となっており，食品カスが残って事故を起こしやすい構造については，何らかの対策を講じる必要があるのではないかと考えられます。

つきましては，電子レンジにおいて庫内の食品カスに起因する事故の低減に向けた方策について，関係工業会からの情報提供をお願いしたく，ご多忙の折誠に恐縮ではございますが，何卒よろしくお願い申し上げます。また、それらの方策が、技術基準の改正等により有効になる場合は、その旨の情報もあわせてご提供くださいますようお願いします。

３．電磁調理器

少量の油を使用した調理に起因する事故の低減手段について

要旨：電磁調理器における事故事例では，少量の油を使用した調理に起因するものが毎年のように上がってきております。
本件につきましては，取扱説明書に注意が記載されているものの，事故がなくならない事例の一つであり，事故を起こしやすい製品については，保護機能の向上など、何らかの新たな対策を講じる必要があるのではないかと考えられます。

つきましては，電磁調理器において少量の油を使用した調理に起因する事故の低減に向けた方策について，関係工業会からの情報提供をお願いしたく，ご多忙の折誠に恐縮ではございますが，何卒よろしくお願い申し上げます。また、それらの方策が、技術基準の改正等により有効になる場合は、その旨の情報もあわせてご提供くださいますようお願いします。

以　上